

## 第2章 都市づくりの目標

### 1. 目標年次

### 2. 都市づくりの基本理念（将来都市像）

### 3. 都市づくりの目標

- (1) 自然・産業・暮らしが共生する都市づくり
- (2) 人を惹きつける魅力がある都市づくり
- (3) コンパクト・プラス・ネットワークの都市づくり
- (4) 安心・安全な都市づくり

### 4. 将来都市構造

- (1) 都市核
- (2) 地域交流ゾーン
- (3) 都市軸

# 1. 目標年次

前回の全面改定時に設定した「都市づくりの目標」（基本理念・将来都市像）を目指している途上では、同一の目標を継承しつつ、持続可能なまちづくりを進めていくため、目標年次は、『令和7年（2025年）』とします。

なお、都市計画は、計画期間内だけでは、必ずしも完結するものではないことから、さらに長期的な視点を念頭におきながら、目標年次における都市づくりの目標や方針を定めていきます。

## 2. 都市づくりの基本理念（将来都市像）

三浦市都市計画マスタープランが担う都市計画の領域における『基本理念』については、三浦市総合計画や三浦すみどりの基本計画等と整合を図りながら、次のとおり定めます。

豊かな緑と海、優れた景観、穏やかな気候を有し、それを活用した農業や漁業を継承し、賑わいを感じながら、暮らし、働き、楽しめるまちづくり

この基本理念に基づき、将来の都市像を次のように定め、将来都市像にふさわしい都市となることを目指します。

豊かな自然環境を活かし共生するまち みうら

### 《基本理念の実現に向けて》

三浦市ならではの自然環境や景観の保全を基調としつつ、今もっているこれらの資産を再評価して、更に「磨き」をかけながら活かしていきます。

こうした視点から、将来人口は減少傾向にある中でも、定住人口及び交流人口の増加に向けて効率的に取り組むために、自然環境と共生する魅力的な居住地や観光資源を充実させ活用しながら「都市核」、「地域交流ゾーン」、「都市軸」を設定して、活力あるまちづくりを実現していきます。（表 2-2-1 参照）

■表 2-2-1 将来人口〈人口推計〉

	国立社会保障・人口問題研究所推計人口（2018年推計）	三浦市人口ビジョン（三浦市の人口の将来展望）	三浦市総合計画計画目標（政策人口）	都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（都市計画区域内人口）
令和7（2025）年	38,227人	41,232人	41,200人	おおむね42,000人
令和27（2045）年	23,827人	31,197人	-	-

### 3. 都市づくりの目標

「都市づくりの基本理念（将来都市像）」を踏まえ、「将来都市構造」の基礎となる都市全体を捉えた「都市づくりの目標」を設定します。

#### (1) 自然・産業・暮らしが共生する都市づくり

三浦市の『資産』である「自然環境」、「活力ある基幹産業」、これらに基づく「景観」、「観光」等は、三浦市にとって、これまでも、これからも、無くてはならないものです。これら『資産』を未来へ継承していくため、自然・産業・暮らしが共生する都市づくりを目指します。

#### (2) 人を惹きつける魅力がある都市づくり

三浦市の『資産』を享受し、市民自らがそれらを楽しみ豊かな生活を送ることが『資産』に磨きをかけることにつながり、また、買い物や観光など、様々なかたちで三浦市を訪れる方々をもてなし、交流を深めることにより、市民と訪れる方々とが一緒に共感できる、人を惹きつける魅力がある都市づくりを目指します。

#### (3) コンパクト・プラス・ネットワークの都市づくり

人口が減少していき、高齢化が進んでいくことによる様々な問題に対応し、高齢者や子育て世代などをはじめとする市民が、健康で、安心で、快適に過ごせる生活環境であり続けられるよう、医療・福祉施設、商業施設や住居等がまとまって立地し、公共交通によりこれら生活利便施設等に容易にアクセスできる、コンパクト・プラス・ネットワークの都市づくりを目指します。

#### (4) 安心・安全な都市づくり

近年、大火やこれまでの想定を超える大規模な災害が発生しており、身近に潜む危険も含め、早急な対応が必要なのは言うまでもありませんが、全てに対してハード的な整備を行っていくことは、限りある財源の中で現実的ではありません。ソフト面での対応と連動し、長期的な視点をもって、安全・安心な都市づくりを目指します。

## 4. 将来都市構造

三浦市では「都市づくりの基本理念（将来都市像）」、「都市づくりの目標」を具現化するために、市域を、幹線道路及び鉄道の沿線を中心に構成している、優先的かつ計画的に市街化を図る区域と、海岸線、海や緑の自然環境及び優良な農地などで構成している、市街化を抑制し、自然環境や農地を維持・保全していく区域に区分した上で、さらに、次のとおり、都市核、地域交流ゾーン、都市軸を設定し、将来都市構造を明確にしていきます。（図2-4-1 参照）

### （1）都市核

本市における代表的な市街地として、市内各地域及び市外との交流を促進する拠点であり、商業・医療・福祉等といった都市機能が集まる市民生活の拠点。

#### ア 中心核

本市のイメージを統合化する「顔」として市域全体を一体化する役割を持ち、交通結節点として市内各地域及び各地域交流核をつなぐ、中心的な市街地。

- 中心核（引橋周辺）

#### イ 地域交流核

市内3地域において定住・交流を支える機能が集まる代表的な市街地。

- 三浦海岸交流核（三浦海岸駅周辺）
- 下宮田交流核（潮風アリーナ周辺）
- 三崎下町交流核（三崎港周辺）
- 三崎口交流核（三崎口駅周辺）

### （2）地域交流ゾーン

各地域の特性に立脚した都市づくりを進める本市の代表的な地域。

#### ア にぎわいの街を形成する交流ゾーン

地域の活性化・市外との交流の活性化を促進するため、各地域の特性を活かした都市づくりを進めていく地域。

- 三浦海岸駅周辺
- 三崎口駅～引橋周辺
- 三崎下町・二町谷・城ヶ島周辺
- 三崎上町周辺（三崎警察署付近  
～城ヶ島入口付近）
- 下宮田・入江周辺
- 高円坊周辺

#### イ 海と緑の魅力を発信する交流ゾーン

美しい自然環境と農漁業生産環境等といった特性を活かした都市づくりを進めていく地域。

- 油壺周辺
- 小網代の森周辺
- 宮川・毘沙門周辺
- 松輪・劔崎周辺
- 金田漁港周辺

### (3) 都市軸

市内各地域を連携するとともに、市外との連携を促進する本市の骨格的な交通軸。

#### ア 広域都市軸

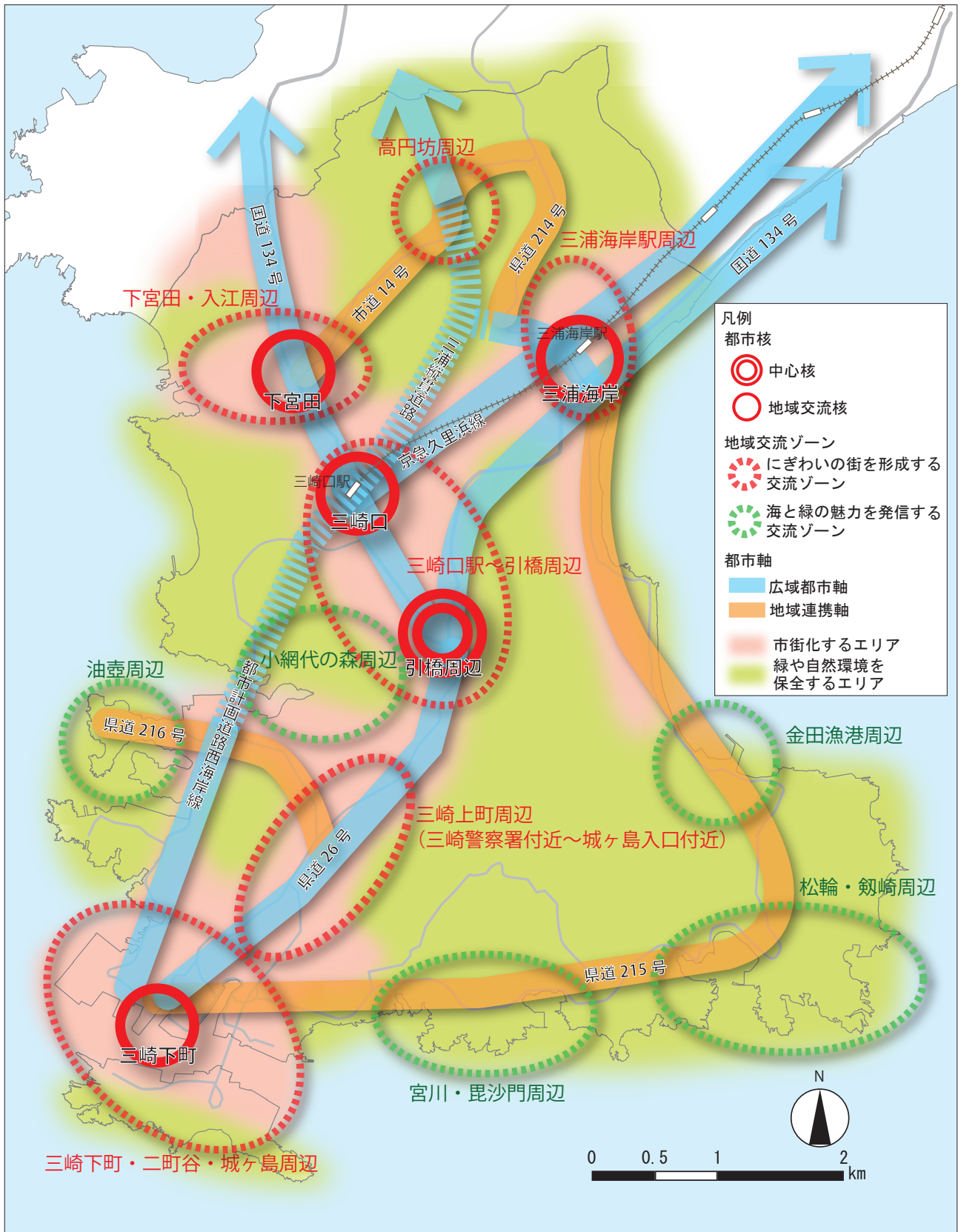
都市核と市外の各都市をつなぎ、交流の活性化を促進させる交通軸。

- 京急久里浜線
- 国道 134 号
- 県道 26 号（横須賀三崎）
- 三浦縦貫道路（新規）
- 都市計画道路西海岸線（一部新規）

#### イ 地域連携軸

都市核・地域交流ゾーンをつなぎ、市内各地域間の連携、各地域の活性化を促進させる交通軸。

- 県道 214 号（武上宮田）
- 県道 215 号（上宮田金田三崎港）
- 県道 216 号（油壺）
- 市道 14 号



■ 図 2-4-1 都市計画マスタープランにおける将来都市構造図